

ルワンダ月報（2020年3月）

主な出来事

内政

- 9日、ンガビチンゼ農業・動物資源国務大臣の就任

外政

- 22日、第5回ルワンダ・ウガンダ関係修復のためのアドホック委員会会合の延期

経済

- 11日、G・バフェット財団（米国）の灌漑システム整備に対する支援

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダの英字日刊紙 The New Times の記事のとりまとめ。

内政

（1）農業・動物資源国務大臣の任命（10日）

9日、カガメ大統領は、2014年以降廃止されていた農業・動物資源国務大臣を復活し、ンガビチンゼ（Mr. Jean Chrysostome Ngabitsinze）を任命した。

外政

（1）第5回ルワンダ・ウガンダ関係修復のためのアドホック委員会会合の延期（25日：RNA）

2019年8月21日、ルワンダ・ウガンダ間の関係修復を目指して締結されたアンゴラ覚書（MoU）に基づき、約30日間隔で関係改善の進捗がモニタリングされてきた。2月21日開催された第4回アドホック委員会会合では、3月22日までに第5回の開催が合意されていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により実質上延期となった。

経済

（1）G・バフェット財団（米国）の灌漑システム整備に対する支援（12日）

11日、カガメ大統領とバフフェ・ハワード・G・バフェット財団（米国）会長は、ルワンダ政府と同財団が農業の近代化及び小規模農家の生計向上を目的に共同出資したナショ太陽光発電を用いた灌漑案件の開始式に出席した。2017年に完成している同灌漑システムへの総投資額は5,400万ドルで、土地、水及び肥料の適切な管理により、農家の生産性を向上させ、食の安全保障を強化する。

(2) 2021年以降のアカゲラ国立公園入園料の値上げ(17日)

アカゲラ国立公園は、2021年以降の入園料を値上げすると発表した。東アフリカ共同体(EAC)諸国の成人は7.5米ドルから10米ドルへ、それ以外の外国人は成人が50米ドルから55米ドル、子どもが10米ドルから30米ドルへ、ルワンダ国籍の子供は4米ドルから5米ドルへ変更される。同国立公園の動物の数は、2017年の12,000頭から2019年にはビッグ5(ライオン, ヒョウ, ゾウ, バッファロー, サイ)を含む13,500頭に増加した。

(了)